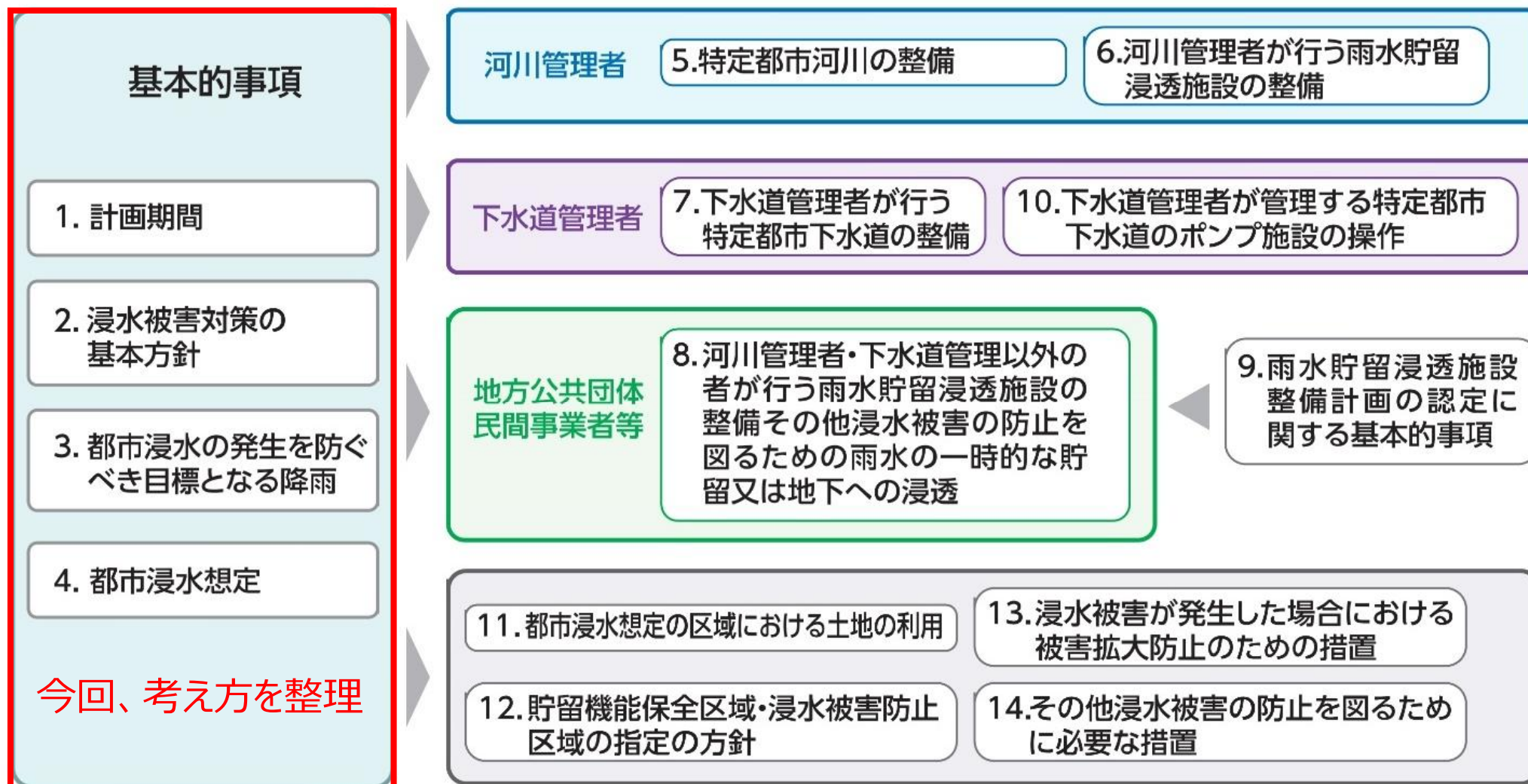


流域水害対策計画の策定について 【資料3】

烏川流域水害対策協議会
令和7年9月4日（木）

- 特定都市河川流域において浸水被害対策を総合的に推進し、浸水被害の防止・軽減を図るために、河川管理者等が共同して流域水害対策計画を策定する。
- 今回の会議においては、基本的事項の考え方を整理する。

流域水害対策計画に記載する事項（法第4条第2項）



荒川水系烏川
【流域水害対策計画】

令和〇年〇月

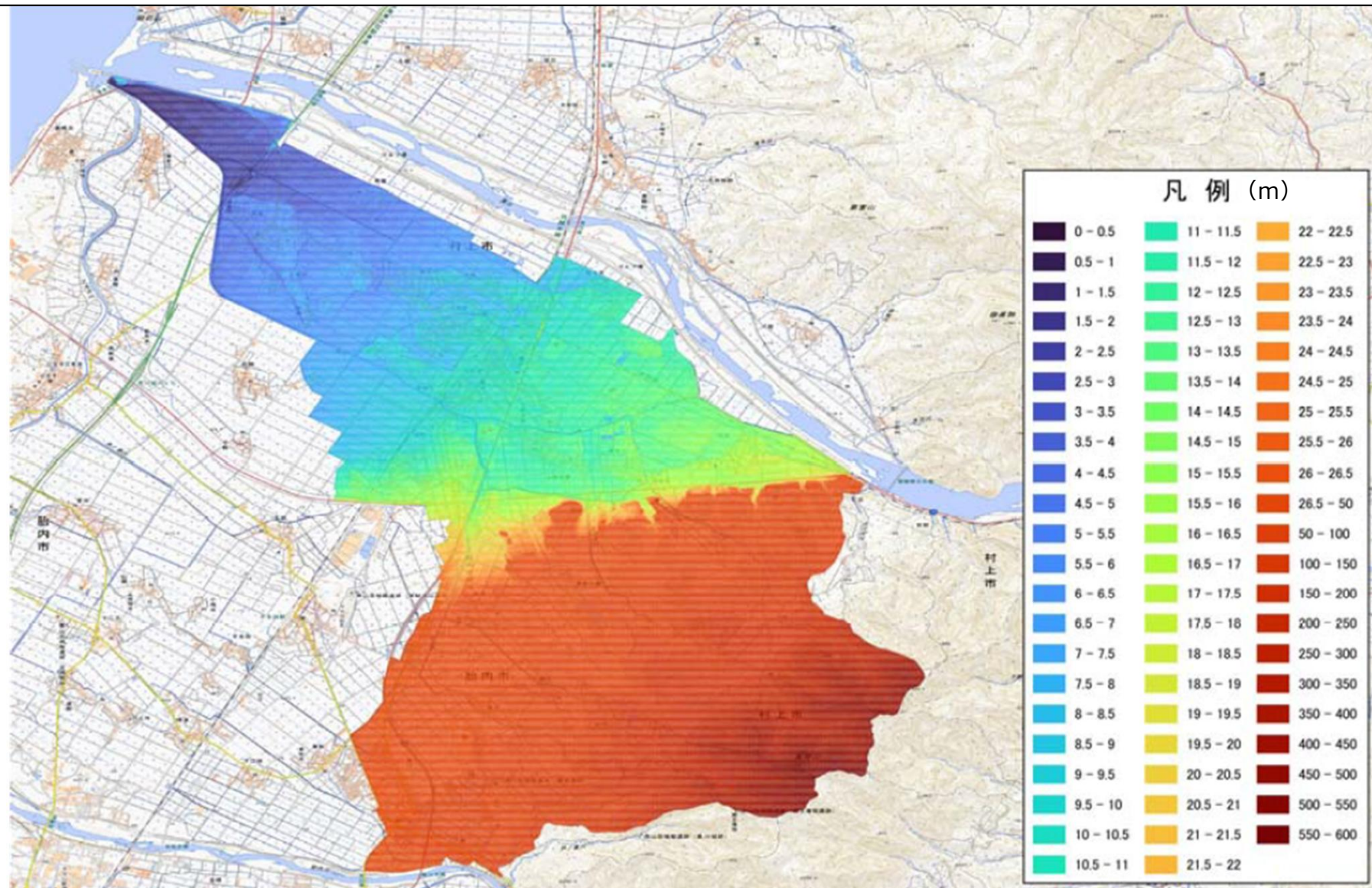
烏川流域水害対策協議会

【目次（イメージ）】

- 第1章 特定都市河川流域の現状と課題
- 第2章 特定都市河川流域における浸水被害対策の基本方針
- 第3章 都市浸水想定
- 第4章 特定都市河川の整備に関する事項
- 第5章 特定都市河川流域において当該特定都市河川の河川管理者が行う雨水貯留浸透施設の整備に関する事項
- 第6章 下水道管理者が行う特定都市下水道の整備に関する事項
- 第7章 特定都市河川流域において河川管理者及び下水道管理者以外の者が行う雨水貯留浸透施設の整備その他浸水被害防止を図るための雨水の一時的な貯留又は地下への浸透に関する事項
- 第8章 雨水貯留浸透施設整備計画の認定に関する基本的事項
- 第9章 下水道管理者が管理する特定都市下水道のポンプ施設の操作に関する事項
- 第10章 都市浸水想定区域における土地の利用に関する事項
- 第11章 貯留機能保全区域又は浸水被害防止区域の指定の方針
- 第12章 浸水被害が発生した場合における被害の拡大を防止するための措置に関する事項
- 第13章 その他浸水被害の防止を図るために必要な措置に関する事項

地形の状況

- 平野部（下流域～中流域）と山地部（中流域～上流域）の高低差が大きい。
- JR坂町駅周辺を中心とする中流域は、標高の高い土地と低い土地が入り組んでいる。
- 日本海沿岸東北自動車道付近の下流域では、烏川から荒川に向けて標高が低くなっているところがある。



直近の災害の状況

- 令和4年8月3日からの大雨において、浸水被害の大きかったJR坂町駅周辺で最大時間雨量152mm、総雨量589mm（国：坂町観測所）を観測した。
- 春木山大沢川での護岸の破損や上流山間部からの土砂流出・土砂堆積等による溢水等が発生し、JR坂町駅周辺の平野部では、外水・内水による浸水被害（床上浸水626戸、床下浸水570戸）が発生した。



まとめ

【地形等の状況】

- 平野部（下流域～中流域）と山地部（中流域～上流域）の高低差が大きい。
- JR坂町駅周辺を中心とする中流域は、標高の高い土地と低い土地が複雑に入り組んでいる。
- 烏川ほか3支川の流域では、大雨等により洪水が発生した場合に浸水が生じるリスクがある。

【令和4年8月3日からの大雨】

- 坂町観測所において、最大1時間雨量152mm・最大24時間雨量589mmを観測した。
- 春木山大沢川では、護岸の破損や上流山間部からの土砂流出・土砂堆積による溢水等が発生した。
- JR坂町駅周辺の平野部では、外水・内水による浸水被害（床上浸水626戸、床下浸水570戸）が発生した。

今後、さらに気候変動による水災害の激甚化・頻発化が予想されるため、流域全体で被害軽減対策に取り組む必要がある。

計画期間（案）

- 特定都市河川流域において都市浸水による被害の防止又は軽減の効果を発現させるために必要な期間
- 流域水害対策計画の策定時から概ね20～30年間程度を1つの目安とする。

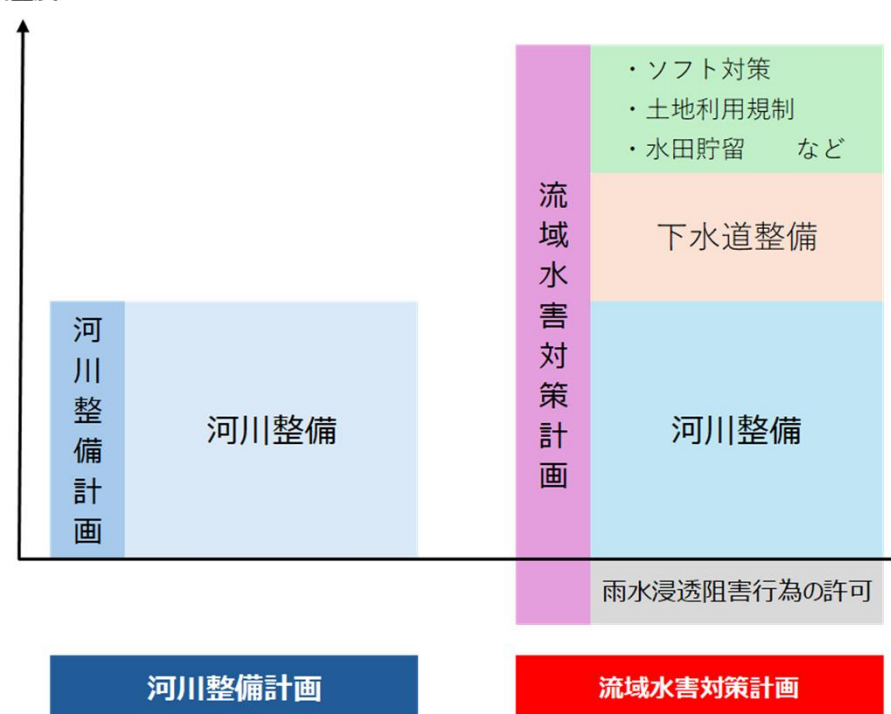
烏川流域においては、計画期間を計画策定時から概ね30年と設定する。

浸水被害対策の基本方針（案）

- 特定都市河川流域において、都市浸水による被害を防止又は軽減する浸水被害対策の基本的な考え方を明らかにする。
- 以下、4つの項目を考慮しつつ、流域水害対策協議会の構成員の間で共有・合意した考え方とする。
 - (1) 特定都市河川流域の特徴、治水対策の進捗状況及び課題
 - (2) 目標及びその達成の考え方（浸水被害対策の分担含む）
 - (3) 「流域治水」の考え方に沿った対策の実施方針
 - ① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らす
 - ② 被害対象を減らす
 - ③ 被害を軽減する
 - (4) 浸水被害対策の推進に当たり考慮すべき概念・考え方

治水
安全度

浸水被害対策 分担のイメージ



都市浸水の発生を防ぐべき目標となる降雨（計画対象降雨）（案）

■ 流域における既計画や過去の水害の発生状況を勘案し、計画対象降雨を決定する。

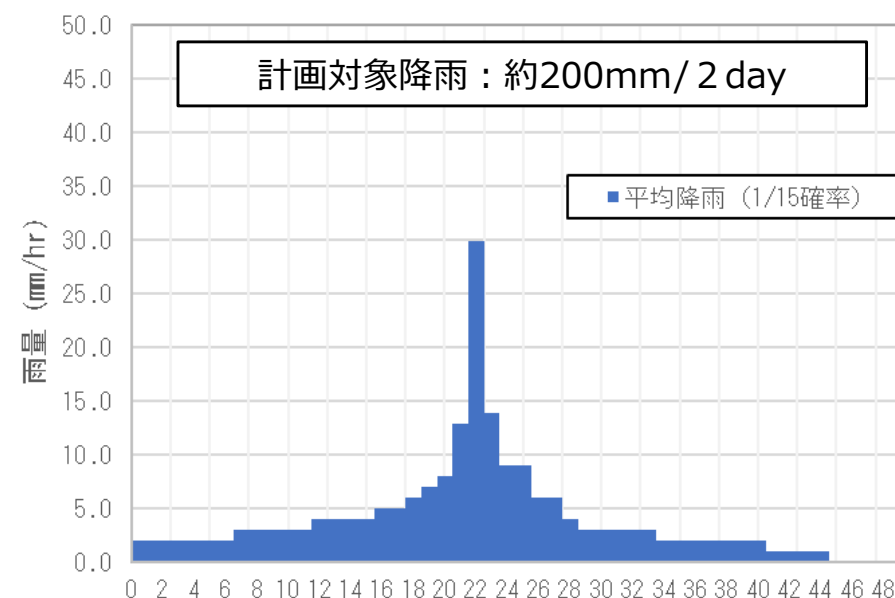
河川整備計画

【烏川・春木山大沢川】
年超過確率 1 / 15 の降雨（H9.6洪水と概ね同規模）
【梨の木川・蔵王川】
河川整備計画に整備を位置付けていない

下水道整備計画

年超過確率 1 / 7 の降雨

- ・ **烏川等特定都市河川の流域全体**の計画対象降雨は、河川整備計画と同規模の **年超過確率 1 / 15** とする。
- ・ また、令和 4 年 8 月 3 日からの大雨により甚大な被害が発生した坂町駅周辺については、目標規模を超える洪水に対しても浸水被害軽減に取り組む。



都市浸水想定

■ 計画対象降雨が生じた場合に、都市浸水が想定される区域および浸水した場合に想定される水深を明示する図面を作成する。